

経営戦略

秋田県大館市
介護サービス事業特別会計

第1 経営の基本方針

大館市は平成17年6月に比内町、田代町と合併しました。合併時82,504人だった人口は71,000人余に減少、高齢化率は28.9%から38%超へと増大しており、今後も一層の高齢化の進展が予想されます。

このような中、地域において介護サービスを安定的、継続的に提供できる体制を整備するため、平成18年度からデイサービス事業、特別養護老人ホーム、軽費老人ホームについて指定管理者制度を導入し、経営の健全化を図りました。地域の実情に精通した指定管理者であることから、地域福祉の向上と利用者の利便に寄与するところが大きく、また、利用料金制により民間事業者のノウハウを活かした公共サービスの向上とコスト削減を図っています。

施設の老朽化による多額の改修費が発生しないよう、定期的な点検と修繕への早期対応等を行いながら、今後も高齢化、高齢者を取り巻く環境を見据え、指定管理者が安定した運営を行えるよう適切な助言を行っていきます。

第2 計画期間

平成29年度から令和8年度までの10年間

随時、計画の進捗管理を行い必要に応じて見直しを行います。

第3 投資・財政計画

(別紙)

第4 効率化・経営健全化の取り組み

(1) 組織、人材、定員、給与に関する事項

指定管理者である法人が、長年地域で培ってきた信頼やネットワークを活用し、介護人材の安定的確保や経営自立化を目的とした適正な給与水準の保持に努めます。介護報酬改正による影響のほか、社会情勢の変化に敏感に対応し引き続き安定した指定管理者としての組織運営を支援します。

(2) 広域化に関する事項 なし

(3) 民間の資金・ノウハウの活用に関する事項

指定管理者制度を導入しております。今後の市の行財政状況に鑑み施設の具体的なあり方・方向性を検討していきます。

(4) その他の経営基盤の強化に関する事項

指定管理者により経営の効率化・健全化が図られています。また、指定管理者に対しては適切なサービス提供がなされるよう指導してまいります。

(5) 資金不足比率の見通しとその評価、地方財政法に定める資金の不足額がある場合にはその解消策 なし

(6) 資金管理・調達に関する事項

指定管理者により資金管理の効率化・健全化が図れるよう指導してまいります。

(7) 情報公開に関する事項

市の広報やホームページを通じ情報公開に取り組めます。

(8) その他の重点事項

超高齢社会が進む中、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むとともに、大館市介護保険事業計画・高齢者福祉計画との整合性を図り、介護サービス事業の充実に努めます。

(参考)

(1) 事業の意義、提供するサービス自体の必要性

高齢者人口の増加に伴い、認知症や要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように支援します。

(2) 公営企業として実施する必要性

高齢化の進行や多様化するニーズに対応するために、介護・予防・住まいの生活支援を包括的に確保するよう取り組めます。